

# GSJ

地球をよく知り、地球と共生する

# 地質ニュース

2024

# 10

Vol.13 No.10



# 10月号

- 
- 249 **報告 タイ王国鉱物資源局との個別研究協力覚書の調印式および在タイ日本大使館訪問** 内田洋平
- 
- 252 **「地熱発電」とは  
—地熱発電の現状と課題，産総研の研究開発—** 山谷祐介
- 
- 256 **衛星による観測で斜面災害リスク地域を抽出  
—マイクロ波衛星画像解析でセンチメートルスケールの地すべりの兆候を捉える—**  
水落裕樹・宮崎一博・阿部朋弥・川畑大作・  
岩男弘毅・松岡 萌・宮地良典・星住英夫
- 
- 260 **地質標本館イベント「ガイドツアー」開催報告** 福田和幸
- 
- 263 **2023 年度地質相談のまとめ** 川畑史子・小松原純子・斎藤 眞
- 
- 269 **地質標本館 講演会「手に取れる！？ミクロな化石  
—時代を決める放散虫のかたち—」開催報告**  
伊藤 剛・横山 隼・兼子尚知・板木拓也・武井勇二郎・常木俊宏・  
中川圭子・福田和幸・瀬口寛樹・都井美穂・森田澄人
- 
- 275 **新刊紹介 「マンガと図解で身につく よくわかる地形・地質」**
- 
- 278 **ニュースレター 「令和 5（2023）年度産総研論文賞の受賞について」**

# GSJ との連携で 新たな事業展開を

御社の  
事業課題・  
新事業

GSJ が持つ  
分析技術や  
研究知識

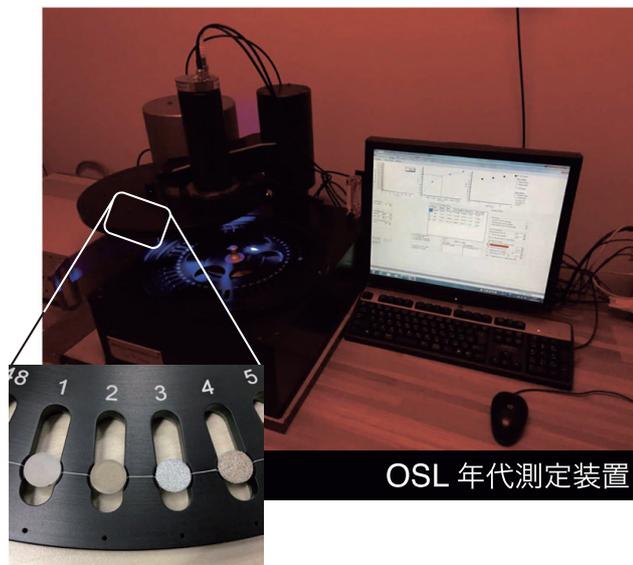
## 連携の手段

- 共同研究\*：知財が発生する場合
- 技術コンサルティング\*  
：知財なし、約款で契約簡単
- 著作権のないデータのレンタル  
：物理データなど

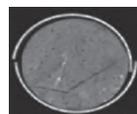
\* 契約は産総研グループの AIST Solutions が担当します

## テーマ事例

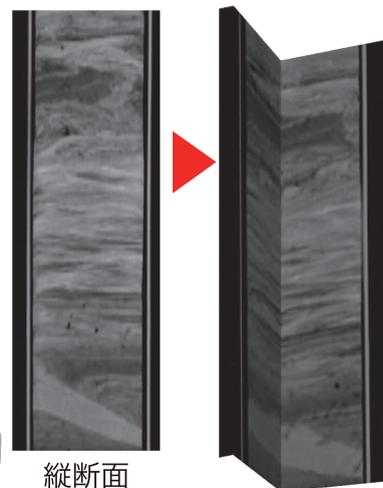
- OSL 年代測定
- 人工粘土鉱物（ハスクレイ）を用いた  
除湿・乾燥技術
- CO2 削減関連技術
- ボーリングビット試験
- 電力等の立地に関連する調査
- 付加体地域の地質調査
- 地層中の有害元素対応
- 非金属資源開発のための調査
- 御社の事情に応じた研修
- 公的資金の共同獲得 …など



OSL 年代測定装置



横断面



縦断面

3D



X線CT技術を用いたコア分析

お問い合わせ

地質相談窓口

✉ [soudan@gsj.jp](mailto:soudan@gsj.jp)



連携オフィサーが  
契約までのお手伝いします

2023年4月より 著作権のない

# 非公表データの レンタル開始



提供可能  
非公表  
データ

## 海洋データ

- ▶ 音波探査 (SEG-Y 形式)
- ▶ 堆積物 (組成等の数値等)

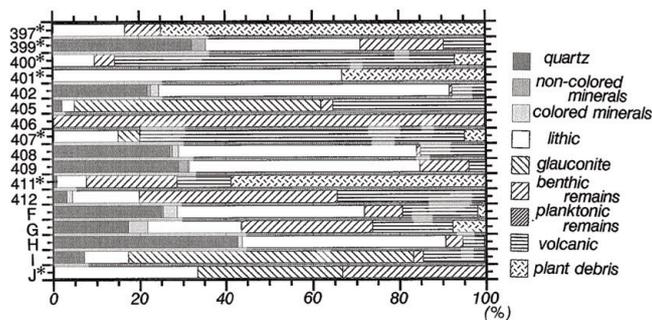
## 陸上物理探査データ

- ▶ 重力探査
- ▶ 電磁気探査 (MT)

## 陸上ボーリングデータ



海底地質図と元の音波探査データの例  
(SEG-Y 形式データ)



表層堆積図と碎屑物組成の例  
(組成等の数値データ、底質の写真など)

用途

海上

風力発電、海底送電、  
資源開発、  
漁業 (沖合生簀) など

陸上

地熱開発、  
CCS など

詳しい情報 (料金など) はご相談ください

お問い合わせ

地質相談窓口

✉ [soudan@gsj.jp](mailto:soudan@gsj.jp)



※ 著作権のある非公開情報については検討中です。現在は技術コンサルティング制度で対応しています。

**GSJ 地質ニュース編集委員会**

委員長 中島 礼  
副委員長 戸崎 裕貴  
委員 竹原 孝  
児玉 信介  
草野 有紀  
宇都宮 正志  
山岡 香子  
森尻 理恵

事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
地質調査総合センター  
地質情報基盤センター 出版室  
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ 地質ニュース 第13巻 第10号  
令和6年10月15日 発行

国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
地質調査総合センター

〒305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1  
中央事業所 7 群

印刷所

**GSJ Chishitsu News Editorial Board**

Chief Editor : NAKASHIMA Rei  
Deputy Chief Editor : TOSAKI Yuki  
Editors : TAKEHARA Takashi  
KODAMA Shinsuke  
KUSANO Yuki  
UTSUNOMIYA Masayuki  
YAMAOKA Kyoko  
MORIJI Rie

Secretariat Office

National Institute of Advanced Industrial Science and Technology  
Geological Survey of Japan  
Geoinformation Service Center Publication Office  
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ Chishitsu News Vol. 13 No. 10  
October 15, 2024

**Geological Survey of Japan, AIST**

AIST Tsukuba Central 7, 1-1-1, Higashi, Tsukuba,  
Ibaraki 305-8567, Japan

## つくば市東縁のさくら大橋から見た桜川上流側と筑波山

[cover photo](#)



茨城県南部を流れる桜川は、利根川水系の一級河川である。現在の桜川の源は桜川市岩瀬の鏡ヶ池にあり、筑波山西縁を流下し、霞ヶ浦に注いでいるが、約 3 万年前の最終氷期までは、鬼怒川が現在の桜川の流路を南下し、その流域に日光連山を起源とする火山岩礫を運び込んでいたことが知られている。筑波山は八溝山地の南西端に位置し、主に約 8100～6100 万年前に貫入した花崗岩体とそれがジュラ紀付加体に貫入して生じた変成岩類からなる。但し、筑波山の 2 つの峰である男体山と女体山の山頂付近には、硬い斑れい岩が分布する。

(写真・文：七山 太 産総研地質情報基盤センター / ふじのくに地球環境史ミュージアム)

The upstream side of Sakuragawa River and Mt. Tsukuba viewed from Sakura-ohashi Bridge on the eastern side of Tsukuba City, Ibaraki Prefecture.  
Photo and caption by NANAYAMA Futoshi